

F/T09

フェスティバル/トーキョー

PRESS RELEASE

新作『blue Lion』 構成・演出・振付：白井剛

3月13日(金)～15日(日)

於：東京芸術劇場 小ホール1



(C)Yujiro Sagami

ダンスと他者、ダンスと音楽、ダンスと言葉—
実力派ダンサーと多彩なミュージシャンを得て、
新たな“ダンスツルギー”(=ダンスの振付方法)の発明に挑む、
白井剛、待望の新作公演！

お問合せ：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨 4-9-1 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内 TEL 03-5961-5202/FAX 03-5961-5207

制作担当：武田 t-takeda@anj.or.jp F/T 広報担当：及位(のぞき)、ハッセル toiwase@anj.or.jp

/ 作品について

2000年「パニョレ国際振付賞」を受賞し、06年には振付家の登竜門「トヨタ・コレオグラフィーアワード2006」で最高賞を受賞した白井剛が、京都芸術センターの招きにより2ヶ月間に渡る京都での滞在制作を行い、2年ぶりとなる新作を発表。

白井は「緊張感のある構成力、および独創的な方法論を兼ね備え、また自己を見つめて作品を創りあげる力を持つ振付家」として評され、これまで発表してきた作品でも、ダンスが持つ既成のテクニックや語彙に拠らない独自の手法を、映像や音楽、声をも採り入れ編み出している。繊細であり強靱、しかしどこか温かく思わずクスリと笑ってしまう独特の時空間を生み出す作品は他の追随を許さない。そんな彼が今回は自身独自の手法すら越境する、「ダンスそのものの新たな発明」を試みる。既成の論理や手法を根本から問い直し、ダンス×他者、ダンス×音楽、ダンス×テキスト、それぞれの関係を手掛かりに、新たなダンスの幕開けを目指す。

白井作品と音楽

白井剛は近年、ダンスと音楽のコラボレーション作品を多数発表してきている。その中でも、世界最高の現代音楽カルテット「アルディッティ弦楽四重奏団」とコラボレーションした、ジョン・ケージの『アパートメントハウス 1776』は、音楽界、ダンス界ともに注目され高い評価を得ており、2006年の初演以降、日本各地で再演を重ねている。また、07年に発表した『THECOーザコ』では、野村誠をはじめ、個性豊かなミュージシャンらと共演し、視覚化できない音と視覚化されるダンスを溶融させ、単なるコラボレーションにとどまらない新たな可能性を持つ作品を生み出した。本作品でも、クラシック、ジャズ、エレクトロニカといったジャンルレスな音楽をどのように“振付”するのか、必見である。

実力派ダンサーとのコラボレーション

出演するダンサー、寺田みさこと鈴木ユキオは、ダンサーとしてはもちろん、振付家としても共に高い評価を得ている、実力派のアーティストである。

寺田は幼いころからバレエを学んでおり、端正な容姿としなやかな動きが醸し出す彼女の踊りは力強く、またコケティッシュな魅力を兼ね備えている。

鈴木は「トヨタ・コレオグラフィーアワード 2008」にてグランプリを受賞。いま最も注目される気鋭ダンサーである。この、いま旬のダンサーの共演もまた本作の見どころである。

京都芸術センター「演劇計画」との共同製作

今回のこのプロダクションは、演出家の発掘・育成に焦点を当てた企画、「演劇計画」(京都芸術センター主催)との共同製作により実現。“演出とは何か？”に焦点を当てた「演劇計画」のプログラミングにより、2ヶ月間の京都での滞在は、より刺激的で充実した創作環境でのクリエイションとなる。

／ 創作ノート

なにもない、広い大地の、小高くなった右のほう。青い色したライオンが、遠く、ぼつんと座って、こちらを見ている。僕の中に見知らぬ風景がある。それはたぶん、僕のカラダの内側と外側に連なる地平の一部。大陸の輪郭線は海と陸の境界線。近くで見るとその線は、よせてはかえず波でできている。風や海流や月の影響も受けながら揺り動き続けている。それは一人の人の輪郭のようにもみえる。

誰かの中の地平線と僕の中の地平線は、どこか遠くで繋がっているだろうか。語られ、記され、歌われて、歴史のなかで伝え紡がれてゆくことば。経験・記憶・感覚・思い・ヴィジョン。いくら説明しても他人には解りえない領土がある。そして本人にさえ説明のつかない、意識と無意識の浸食しあう場所。一人の「人」のその存在感は、そんな場所からしのび寄るのではないだろうか。

多様な他者に囲まれて、その営みの中で生きている私たち。人は存在で、人は現象で、人の形はまるで…。

2人のダンサーと4人のミュージシャン、6人の男女。3組の夫婦と1組の親子と…、青いろライオン…。

白井 剛

／ アーティスト・プロフィール

構成・演出・振付：白井 剛 Tsuyoshi Shirai



1976年、長野県飯田市生まれ。96年～2000年、ダンスカンパニー「伊藤キム＋輝く未来」の作品に出演。98年、「Study of Live works 発条ト(ばねと)」の設立に参加。『Living Room -砂の部屋』にて、「バニョレ国際振付賞 (Prix d'Auteur du Conseil general de la Seine-Saint-Denis 2000)」受賞。04年、ソロ作品『質量, slide, & .』を発表。04・05年、香港のYuri NG(ユーリ・ン)振付『悪魔の物語』(ストラヴィンスキー『兵士の物語』より)、05年、伊藤キム振付『禁色』(原作：三島由紀夫)へダンサーとして出演。06・07年、現代音楽カルテット「アルデッティ弦楽四重奏団」とのコラボレーション公演を国内6都市(金沢・益田・東京・宮崎・飯田・伊丹)にて行う。06年、「トヨタ・コレオグラフィーアワード 2006」にて「次代を担う振付家賞 (グランプリ)」受賞。07年、第一回日本ダンスフォーラム賞を受賞。06年より、新型ユニット「AbsT」を設立し、翌

年2月、新作『しはに-subsoil』を発表。07年8月、トヨタ・コレオグラフィーアワード 2006 受賞者公演にて、5人の音楽作曲家たちとのコラボレーション作品『THECO-ザコ』を発表。同年9月には再び音楽家・野村誠らとコラボレーションを行い『(野村誠 - 白井剛) × 21=』を発表した。

出演者プロフィール

寺田みさこ Misako Terada (ダンサー)

1987年より石井アカデミー・ド・バレエに所属。91年より砂連尾理とユニットを結成。2002年3月「第1回 TORII AWARD」大賞受賞。同年7月「トヨタ・コレオグラフィーアワード 2002」にて、「次代を担う振付家賞(グランプリ)」「オーディエンス賞」受賞。06年以降ソロでの活動を開始し、山田せつ子、山下残振付作品などに出演。07年、初のソロダンス公演『愛音』をシアタートラム、びわ湖ホールにて上演する。京都造形芸術大学舞台芸術学科准教授。

鈴木ユキオ Yukio Suzuki (ダンサー)

1997年アスベスト館にて舞踏を始め、室伏鴻、SAL VANILLAなどの作品に参加。2000年より「金魚」として活動を開始。切実な身体を並べた、ドキュメンタリー的演出・振付方法が注目を集める。近年は、横浜トリエンナーレでのパフォーマンス、東京シティバレエ団ダンサーへの振付、「アジアダンス会議」参加など、振付家としての活動も幅広く展開。また、舞踏のメソッドを基礎にワークショップも実施。身体を丁寧に意識し、自分だけのダンスを作り出すプログラムを各地で開催している。08年「トヨタ・コレオグラフィーアワード 2008」にて「時代を担う振付家賞(グランプリ)」を受賞。今注目を集めている振付家/ダンサーの1人である。

イノウエユウジ a.k.a dill (ピアノ)

作曲家。1976年生まれ。dill名義で2枚のアルバムをリリースするほか、国内外のアーティストのリミックス、コンピレーションや、アニメーション、ファッションショーなどの音楽も手掛ける。これまでに白井剛、伊藤キム、Yuri NG、森下真樹など多数のコンテンポラリーダンス作品に曲を提供。3rdアルバム「OPERA(仮題)」近日リリース予定。

高橋美和子 (ヴォーカル)

国立音楽大学でピアノと声楽を学ぶ。イノウエユウジ(dill)の作品にヴォーカルとして参加。

寺田ちはる (アコーディオン)

クラシックを中心に シャンソンやタンゴはじめ、幅広いジャンルで活動。国内外オーケストラや室内楽アンサンブルでの客演、舞台劇、ビデオ音楽の作編曲など幅広い分野で活動を続けている。JAA 全国アコーディオンコンテスト2位。実演家団体「アンサンブル・レネット」での演奏・企画・制作を担当。最近ではアコーディオンでは珍しくスペイン曲を積極的にレパートリーに取り入れ、スペイン絵本作家や画家とのコラボレーションなどで注目を集めている。

寺田敏雄 (ギター)

コルドバ四重奏団を経て、朝日放送専属ギタリストとなる。数々の舞台や劇音楽、TV音楽などの演奏をするかたわら、子どもやファミリー対象の音楽を中心とする実演家団体「アンサンブル・レネット」を結成。現在、レネットの代表、ギタリスト会議特別審査員等、様々なコンサートで演奏活動を展開している。

／ 特別寄稿

「ウーティスのドラマ——白井剛のために」

浅田 彰(批評家／京都造形芸術大学大学院長)

豪胆な戦略家オディッセウスは、自らウーティス(nobody=誰でもない者)と名乗ることで、一つ目の巨人キュクロプスたちを混乱させ、まんまと逃走に成功する。さて、白井剛もまた、ウーティスと呼ぶべき存在ではないか。彼は、ダンサーであると同時に振付家・演出家でもある。舞台上で際どく揺れる秤のようなダンスを見せるかと思うと、ミュージシャンたちの演奏にちょっかいを出し、時には不穏な空気を漂わせながら観客席を徘徊したりもする——と同時に、そうしたパフォーマンスのすべてを冷静にコントロールしてもいるのだ。ダンスと演劇、パフォーマンスと演出、舞台と観客席の間の境界線で、どちら側に属することもなく危なっかしい歩みを続ける、ウーティス。ただし、豪胆な戦略家どころか、乱暴な決断を避け続ける繊細すぎるほど繊細な現代のウーティス。安易なスペクタクルを求める、キュクロプスのように視野の狭い観客は、決して彼をとらえることができないだろう。しかし、その間にも、ウーティスとしての白井剛は、いたるところに見えないネットワークを張りめぐらし、かつて誰も知らなかった重層的なパフォーマンス空間を切り開いてゆくだろう。その静かな革命はすでに始まっているのだ。

Akira Asada / 1957年兵庫県生まれ。京都大学経済学部卒業、同大学院経済研究科博士課程中退。京都大学経済研究所准教授を経て、現在、京都造形芸術大学大学院長。哲学・思想史、音楽、舞踊、美術、建築、映画、文学ほか種々の分野において批評活動を展開している。主な著書に『構造と力』、『逃走論』のほか、『ヘルメスの音楽』、『映画の世紀末』、対談集に『天使が通る』、『「歴史の終わり」を超えて』、『20世紀文化の臨界』、『憂国呆談』シリーズなどがある。

／ キャスト/スタッフ

構成・演出・振付	白井 剛
出演	寺田みさこ 鈴木ユキオ イノウエユウジ a.k.a dill(ピアノ) 高橋美和子(ヴォーカル) 寺田ちはる(アコーディオン) 寺田敏雄(ギター)
作曲	イノウエユウジ
演出・振付補佐	岡本真理子
舞台監督	夏目雅也
照明	吉本有輝子
音響	宮田充規
映像・演出補佐	相模友士郎
衣裳	佐藤麻由(PLUSQUEHABI)
制作協力	ハイウッド、小倉由佳子
製作	京都芸術センター「演劇計画 2008」
共同製作	フェスティバル/トーキョー
助成	財団法人セゾン文化財団
主催	フェスティバル/トーキョー

公演/チケット情報

会場	東京芸術劇場小ホール 1
チケット料金	全席自由 一般 4,000 円／学生 3,000 円(要学生証提示)／ 高校生以下 1,000 円
お取扱い	フェスティバル/トーキョー(HPのみ)、ぷれいす(電話のみ)、 電子チケットぴあ(Pコード:391-405)、イープラス、 東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707

公演スケジュール

3/13 fri	3/14 sat	3/15 sun
19:00	14:00/19:00	14:00

F/Tパフォーマンス チケット 2008 年 12 月 18 日(木)前売開始 ※F/T 参加作品は対象外

■チケット取扱

フェスティバル/トーキョー(HPのみ) <http://festival-tokyo.jp>

ぷれいす(電話のみ) 03-5468-8113(平日 11:00-18:00)

電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード予約) <http://pia.jp/t> ※『サンシャイン 63』と『演劇/大学 09 春』は対象外

イープラス <http://eplus.jp> ※『サンシャイン 63』と『演劇/大学 09 春』は対象外

- ・指定席の場合、開演時間に遅れたお客様はご指定のお席にお座りになれない場合がございます。
- ・未就学児童のご入場はお断りさせていただきます。
- ・受付開始及び当日券の販売は開演 1 時間前、開場は 30 分前からとなります。
- ・チケットの払戻、観劇日の変更はできません。
- ・チケット料金には消費税が含まれます。

F/Tパフォーマンスを、選んで観る。全部観る。誘って観る。学生も観る。

フェスティバル/トーキョーならではのお得なチケットでお楽しみください。 ※フェスティバル/トーキョー・ぷれいすのみ取扱い

◇F/T 回数券 **選んで観る!** ※お好きな演目を選んでご覧いただけます。(『サンシャイン 63』は対象外)

3 演目 ¥10,000 (¥3,333/枚)、5 演目 ¥15,000 (¥3,000/枚)

◇F/T パス(13 演目) **全部観る!** ※全ての演目をご覧になれます。(『サンシャイン 63』は対象外)

¥30,000(¥2,300/枚)

※F/T 回数券、F/T パス(13 演目)のお取扱いについて

・2 月 13 日(金)18:00 まで販売(限定枚数)

・観劇演目・日時が未定でも購入できます。

・購入後は演目・日時のご予約を受付けます。

・予約なしでも当日ご入場出来ます。但し、満席時はご入場頂けない場合がございます。

・確実にご覧頂くためには演目・日時予約をお勧めいたします。

・回数券・パスはご本人様のみ有効です。

◇ペアチケット **誘って観る!**

チケット 2 枚分の料金から 10%OFF でご購入頂けます。(例/¥4,500×2 枚=¥9,000→¥8,100)

※2 名同日時観劇のみお受けいたします。 ※当日券のご用意はございません。 ※『演劇/大学 09 春』は対象外です。

◇学生料金 **学生も観る!**

学生 全演目 ¥3,000(要学生証提示) 高校生以下 全演目 ¥1,000

※東京芸術劇場中ホール公演は S 席 ※当日でもご購入できます。

◇Port B セット券(『雲。家。』『サンシャイン 63』) ¥6,400 (¥3,200/枚)

※ぷれいすのみ取扱い ※2 月 13 日(金)18:00 まで販売(限定枚数)

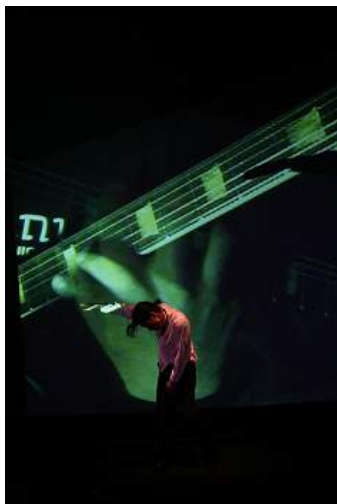
3 演目	¥10,000 (¥3,333/枚)	F/T パス	¥30,000 (¥2,300/枚)
5 演目	¥15,000 (¥3,000/枚)	ペアチケット	10% OFF

/ フェスティバル/トーキョー09 春 開催概要

名称	フェスティバル/トーキョー09 春 Festival/Tokyo 09 spring
会期・会場	2009年2月26日(木)～3月29日(日) 東京芸術劇場 中ホール 小ホール 1・2 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) にしすがも創造舎
プログラム	F/T パフォーマンス 14 演目 F/T 参加作品 5 演目 F/T プロジェクト(シンポジウム/ステーション/クルー)
主催	東京都 財団法人東京都歴史文化財団 フェスティバル/トーキョー実行委員会 豊島区、財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン
共催	社団法人国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター
事業共催	国際交流基金
協賛	アサヒビール株式会社、株式会社資生堂
助成	財団法人アサヒビール芸術文化財団
後援	外務省、社団法人日本芸能実演家団体協議会、社団法人日本劇団協議会
協力	東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、 豊島区観光協会、社団法人豊島産業協会、社団法人豊島法人会
宣伝協力	株式会社ポスターハリス・カンパニー
平成 20 年度文化庁国際芸術交流支援事業	
提携事業	東京芸術見本市 2009

/ 写真/クレジット一覧

『THECO - ザコ』 (2007 年)



(C)Yota Kataoka



(C)Yota Kataoka

『質量, slide , & .』(2004 年)



(C) Toshihiro SHIMIZU

ポートレート: 白井剛



(C)Ryou Shirai

寺田みさこ



(C)Nobutoshi TAKAGI

鈴木ユキオ



(C)Shinji KUBO